

広報

おきなわ

2015
SEPTEMBER

9

NO.495

OKINAWA CITY NEWS・広報おきなわ

特集 沖縄市民 平和の日

戦後70年を振り返る …… 2～5

平和月間 開始セレモニー …… 6

キングス 新リーグ一部に参入決定 …… 7

今月の人・わったーじちくわい …… 8・9

フォトニュース・話題 …… 10・11

豊中まつり …… 12

地域のエイサーまつり紹介 …… 13

お知らせ …… 18～23

人口14万人を突破!!

市の人口が7月27日に14万人を突破し、市役所正面にある時計台に記念の懸垂幕が掲げられた。14万人目の市民となったのは、7月27日に出生届が提出された赤ちゃん6人。今年3月には、沖縄こどもの国で赤ちゃんソウの琉美も誕生した「こどものまち沖縄市」は、これからも発展していく。

ホームページ <http://www.city.okinawa.okinawa.jp/>

特集

沖縄市民平和の日

戦後70年を振り返る

第2次世界大戦末期の1945（昭和20）

年、沖縄では住民を巻き込む地上戦が繰り広げられた。「鉄の暴風」と形容される激しい戦闘では、おびただしい数の砲弾や銃弾が飛び交い、住民を含む多くの尊い命が奪われ、穏やかな日常は破壊された。

戦後、すべてを失いながらも立ち上がり復興した沖縄。その後も環境は目まぐるしく変化し、激動の時代を経て独自の文化を発展させた。

戦争終結から70年、現在では戦争を知る人も少ない。本号では戦後70年を振り返り、いま一度「平和」について考える。

降伏調印式の碑
(嘉手納空軍基地内)

対馬丸乗船者 當眞秀夫さんの体験



當眞 秀夫さん
対馬丸生存者。沈没の際に家族を失い、自身も大けがを負う

京都で生まれ育った當眞秀夫さんは1944(昭和19)年、14歳の夏、沖縄で暮らす祖母に会うため母、妹、2人の弟と共に5人で沖縄を訪れ、夏休みを過ごし、京都に帰るため、8月21日に対馬丸に乗った。

8月22日の夜、當眞さんは友人と共に蒸し暑い船室を出て、対馬丸の甲板で涼んでいた。甲板の端の方にあるタンクで水を汲んでいると、すさまじい衝撃を受けた。対馬丸が米軍の潜水艦の攻撃を受けたのだ。友人は爆風で吹き飛ばされ、當眞さんも首や腕、足に大けがを負った。対馬丸は合計3発の魚雷を受け、沈没した。甲板にいた當眞さんは、イカダに乗り難を逃れたが、船内にいた家族は船と共に暗い海に沈んだ。

対馬丸沈没後、當眞さんは那覇の学生5人とイカダで漂流していた。真夏だったが、海上は夜になると震えるほどの寒さだった。漂流2日目、

海は荒れ、十数メートルの波にもまれた。3日目の海は穏やかで安堵したのもつかの間、水平線の彼方まで何もない状況のなか、夜になると学生たちが「那覇の灯りが見える。僕らの家の灯りも見える」と言い出した。心身ともに疲弊しきっていた彼らは幻覚を見たのだろう。「助けを呼んでくる」と次々と真つ暗な夜の海に飛び込んでいった。大けがを負い疲弊しきっていた當眞さんには、彼らを止めることも、助けることもできなかった。當眞さんを除く全員が海に飛び込んでしまい、彼らが戻ってくることはなかった……。

対馬丸沈没から1週間後の8月29日、もうろうとする當眞さんの目にモクマオウの木と砂浜が映った。當眞さんは奄美大島に漂着し、漁師に助けられた。村に運ばれた當眞さんは回復していったが、奄美大島や付近の島には対馬丸の乗船者と思われる遺体



沖縄県公文書館提供

▲1945年4月1日、読谷の浜辺に上陸した米国海兵隊



沖縄県公文書館提供

▲沖縄本島で最初に収容された楚辺の捕虜収容所の住民



沖縄県公文書館提供

▲愛知県の「すずしろ子供会」が中心になって護国寺の境内に建立された小桜の塔(1959年に護国寺から旭ヶ丘公園に移転)

が次々と流れ着いていた。数か月後、奄美大島も空襲を受け、當眞さんはガマに避難した。負傷した足に包帯を巻いてガマにこもっていた當眞さんだったが、あまりのかゆみに耐えかねて包帯をはがしてみると、傷口からウジがわいていた。あわてて包帯と足のウジを洗い流した。

その後、奄美大島に米軍が上陸することはなく、戦争は終結。當眞さんは生き延びることができたが、家族や友人を失い、心と身体に深い傷を負った。

《沖縄戦概要》

1941(昭和16)年	12月8日	日本海軍が真珠湾を攻撃。太平洋戦争が始まる
1944(昭和19)年	3月22日	日本軍が沖縄防衛のため、南西諸島に第32軍創設
	7月7日	南西諸島の集団疎開が決まる
	8月22日	対馬丸が悪石島付近で撃沈
	10月10日	沖縄大空襲
	10月29日	第32軍が第1次防衛召集。17歳から45歳までの健全な男子を防衛隊として召集
1945(昭和20)年	1月20日	第32軍が第2次防衛召集。17歳から45歳までのほとんどの男子を召集
	3月6日	国民勤労動員令により、沖縄県の15歳から45歳の男女が動員される
	3月23日	米軍が沖縄諸島に空襲を開始
	3月26日	米軍が慶良間列島に上陸。地上戦が始まる
	4月1日	米軍が沖縄本島中部西海岸に上陸
	4月5日	米軍が読谷村比謝に軍政府設置
	4月7日	米軍が名護に進攻
	4月16日	米軍が伊江島に上陸
	5月下旬	日本軍が首里から撤退
	6月23日	牛島満司令官ら自決。日本軍の組織的抵抗が終わる
	7月2日	米軍が琉球作戦の終了を宣言
	7月26日	連合軍が対日ポツダム宣言を発表
	8月6日	広島に原爆投下
	8月9日	長崎に原爆投下
	8月14日	ポツダム宣言受諾
	8月15日	昭和天皇による終戦の玉音放送
	9月2日	ミズーリ号甲板で日本降伏調印
	9月7日	旧越來村森根で南西諸島守備軍の降伏調印

戦後の混乱からの復帰を経て

1970(昭和45)年12月20日
コザ騒動



照屋寛則氏提供

▲胡屋で米兵が運転する自動車が沖縄人をはねたことをきっかけに起きた米軍関係車両の焼さうち事件。米国統治下で不当な扱いを受けていた沖縄人が怒りを爆発させ、約80台の車両が焼さうちされた。

1972(昭和47)年5月15日
沖縄が日本に復帰



沖縄県公文書館提供

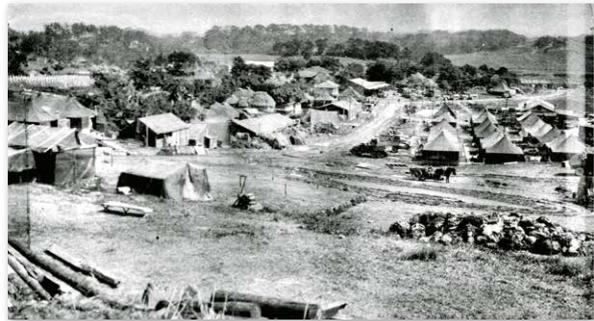
▲戦後、米国による27年の統治を経て沖縄が日本に復帰。

1985(昭和60)年6月20日
核兵器廃絶平和都市宣言



▲戦後40年の節目に、当時の桑江朝幸市長が核兵器廃絶平和都市を宣言。

1945(昭和20)年頃
収容所から復興に向けて



▲戦時中は高原や嘉間良に収容所が設けられ、戦後、人々はこの地から復興に向けて再出発した。

1971(昭和46)年1月13日
知花爆薬庫から毒ガス移送(レッドハット作戦)



沖縄県公文書館提供

▲知花弾薬庫に毒ガスが貯蔵されていることが1969年に判明。撤去を求める県民大会が頻繁に行われるも、移送先や移送ルートを選定が難航し、移送完了まで2年の月日を要した。第1次移送が1971年1月13日、第2次移送が同年7月15日から9月9日にかけて行われた。

1974(昭和49)年4月1日
沖縄市開庁



▲コザ市と美里村が合併し沖縄市が誕生。沖縄市長職務執行者の大山朝常氏が沖縄市の発足を宣言した。

1991(平成3)年8月4日
親子平和大使を広島に派遣



▲親子で平和について学んでもらおうと、中学生と保護者7組を広島に派遣。現在でも、中学生と社会人の平和大使が広島と長崎を毎年交互に訪問し、平和の尊さを学んでいる。

語り継がれる平和への想い

沖縄市では平和学習や平和交流を通して戦争の悲惨さ、平和の尊さ、生命の大切さを学び、平和な21世紀を創造する人材育成を目的に、平成大使研修を行っている。

現在研修中の平成27年度平和大使と、昨年度研修を修了した平成26年度平和大使に、研修で学んだことや平和に対する想いなどを聞いた。

平和大使になったきっかけ

先生に勧められたことがきっかけで、戦争について勉強できるいい機会だと思いました。

平和大使になって学んだこと

終戦の日やアイスパーク作戦などの話を聞き、昔の沖縄の様子を学びました。戦争はたくさんの方の命を奪う決まっています。起きてはほしくないもの。



平成27年度沖縄市平和大使
吉本侑生さん(コザ中学校2年生)



今後は、基地についての問題も考えていきたいです。

基地について

自然を壊したり、戦争のきっかけになったりします。沖縄がベトナムから「悪魔の島」と呼ばれていると聞いたときは衝撃を受けました。そんな物騒な島じゃないのに…。平和が1番だと思いました。

今後学びたいこと

戦争の悲惨さ、どのようなことが行われたのかを学びたいです。戦争と平和について学び、2度と戦争の起こることはないように努力していきたいと思っています。



平成26年度沖縄市平和大使
島袋萌七さん(元社会人平和大使)

研修で学んだこと、感じたこと

平和大使の研修を通して、命の大切さや平和の尊さを実感し、「学ぶことの大切さ」を学びとることができました。今になって振り返ると、平和大使になるまでは、戦争や平和について知っているつもりだったのだと思います。平和大使の研修では、常に新しい衝撃、悲しみがあり、学びの連続でした。また、私は沖縄市で生まれ育ちましたが、市内に多くの戦跡があることを知り驚きました。

研修を終えての感想

戦争については学校でも教わりましたが、原爆について被爆者の生の声を聞くことができたことは貴重な経験です。広島市の平和記念資料館で見たものを思い出すと、言葉にならない感情がわいてきて今でも鳥肌が立ちます。研修

では貴重な経験をすることができました。チャンスをつかんだことに感謝しています。平和大使の経験は人生に大きな影響を受けました。

現代の平和について

戦後70年が経ち、戦争を知る人も少なくなっています。これからは平和大使の担う役割が大きくなっていくと思います。私たちの世代がもっと学び、後世に伝えていく必要があります。私は県外に住む知人が多くいるのですが、沖縄に来た際には観光スポットのほかに戦跡の場所などを伝えていきます。一人ひとりが改めて平和について考えて欲しいです。それが平和への大きな1歩につながると 생각합니다。

平和大使を務めて変わったこと

「平和」という言葉に敏感になり、平和について自問自答する機会が増えました。平和とは何か、考えるたびに答えは変わります。それは、今、自分が平和な環境にいるからなのだと思います。平和大使は、平和と戦争について目・耳・肌で感じる事ができる貴重なチャンスです。ぜひ、多くの方に経験して欲しいと思っています。

核兵器廃絶平和都市宣言

(昭和60年6月28日決議)

戦争の惨禍を防止し、世界の恒久平和と安全を実現することとは、人類共通の念願である。

わが国は、世界唯一の核被爆国として、再び地球上にあの広島、長崎の惨禍を繰り返させてはならない。

また、わが沖縄県は、第二次世界大戦において、悲惨な地上戦を体験した唯一の県である。

平和の尊さと戦争の悲惨さを身をもって体験したわれわれは、世界のすべての国に対し、二度と戦争を繰り返してはならないことを訴え、共に、そのことを子孫に伝えねばならない。

よって沖縄市は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶を誓う全世界の人々と相携え、人類の恒久平和を実現することを決意し、ここに核兵器廃絶平和都市を宣言する。



▲コザ運動公園に建てられた平和モニュメント

戦跡を訪ね平和を考える

沖縄市戦跡めぐり

市では、沖縄戦の実相や歴史的背景を伝える手法の一つとして戦跡をめぐり、改めて平和について考える機会を創出することを目的に沖縄市戦跡めぐりを実施している。今年度は7月28日に、市民や平和大使などが参加し、嘉手納空軍基地内の沖縄戦降伏調印式の碑や旧日本軍中飛行場格納庫跡、旧日本軍野戦病院跡、美さと児童園内にある市指定文化財の奉安殿や忠魂碑、北谷のクマヤーガマと米軍の沖縄本島上陸地点、市戦後文化資料展示室ヒストリートを訪ねた。嘉手納空軍基地内の戦跡は、普



▲降伏調印の碑について説明を受ける参加者

段、目にする機会が少ないこともあり、参加者は興味深そうに見入り、同基地の渉外担当者の説明に耳を傾けた。沖縄戦降伏調印式の碑は旧越来村森根に位置し、米軍と南西諸島の日本軍の間で降伏調印が行われた場所に建てられている。降伏調印の行われた9月7日を市では市民平和の日としている。奉安殿は天皇皇后両陛下の写真「御真影」や教育勅語を保管した建物で、忠魂碑は戦死した日本軍人を慰めるために建立された。奉安殿と忠魂碑は明治時代から全国に建立されていたが、戦後、大半が取り壊された。



▲北谷町の米軍上陸地点付近にあるクマヤーガマ



▶長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で献花する沖縄市平和大使

被爆地で戦争の惨さを学ぶ 平和大使が県外研修で長崎へ

戦争の悲惨さや平和の尊さ、生命の大切さを学んでいる沖縄市平和大使が、8月7日から10日までの日程で県外研修として、福岡と長崎を訪れた。

初日は福岡県筑前町の大刀洗平和祈念館を見学し、地元の中学生と平和交流した。2日目は原爆落下中心地の碑や被爆当時の地層、外国人犠牲者の碑、山王神社の一本柱鳥居と被爆クスノキ、長崎大学医学部門

柱などの被爆遺跡をめぐり、長崎原爆資料館を見学した。また、青少年ピースフォーラムに参加し、被爆体験者の講話を聴き、平和学習を行った。3日目は松山町の平和公園で挙行された長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に参列し、献花した。最終日は恵の丘長崎原爆ホームを訪ね、被爆体験者から原爆投下時の惨状を聴いた。

市では、被爆地である長崎と広島に毎年交互に平和大使を派遣している。

沖縄市から平和を発信

平和月間開始セレモニー

本市では8月1日から9月7日までを「平和月間」と定めており、市民団体とともに様々な企画を実施して平和の尊さを市民に伝えている。

月間の開始にあたり、7月31日に市役所でセレモニーが行われ、桑江市長が平和月間の開始を宣言し、沖縄市平和大使と、平和学習のため訪れていた姉妹都市の米沢市訪問団が紹介された。また、沖縄市平和大使を代表して越来中学

の喜友名寧々さんがあいさつし「平和月間は戦争を知らない世代にとって大切な取り組み。平和について考える機会にした」と語った。セレモニーの最後には、平和大使ソング「時代の語り部」を沖縄市平和大使が合唱した。

9月7日の「市民平和の日」には市民会館大ホールで記念行事が開催され、平和大使による紙芝居朗読や平和クイズ、HYのコンサートが行われる。



▶手話を交えて平和大使ソングを歌う大使達



▶仕事への真剣さはプロ顔負け

将来の仕事を体験しよう

第2回沖縄市子ども市場inミュージックタウン

子ども達が企画した店舗で、販売や買い物などの仕事体験を通し、経済の仕組みを学ぶことを目的としたことも市場（沖縄市市民活動交流センター主催）が8月8日、ミュージックタウン1階の音楽広場で開催された。応募した54人の子ども達は、事前学習でお金の仕組みや接客方法を1週間かけて学び、本番当日は、八百屋やパン屋などに扮して、威勢よく呼び込みを行い、約千人の来場者に商品の販売を行った。子ども市場でネイリストになった諸見小学校3年生の兼城琉瑠奈さんは「事前学習は長かったけど楽しかった。お仕事をしてお金をもらえることは楽しい」と笑顔で話した。

キングス新リーグ一部参入

2016年秋 新たなステージへ挑戦

本市をホームタウンとして活躍している、男子プロバスケットボールの琉球ゴールデンキングスが、国内2リーグを統合し、来秋から開幕する新リーグ1部への参入が決まり、8月3日に木村達郎代表らが、桑江市長を訪ね、報告を行った。木村代表は「参加条件の1つである、ホームアリーナは、市が整備予定の多目的アリーナでクリアできた。これからも、集客数を伸ばしていきたい。1部リーグ参入については、喜びよりも、身の引き締まる想いでいっぱい」と新たなステージに向けた抱負を語った。新リーグは、3部制で、最上位の1部リーグは、16から18チームで構成される。



▶木村代表（左から2人目）から報告を受ける桑江市長（中央）

知花花織復興への貢献を称える

知花花織事業組合設立7周年記念式典

市農民研修センターで8月7日に知花花織事業協同組合（小橋川順市理事長）の設立7周年を祝う記念式典が開催され、同組合の前身となる作業所の創設や織り手の人材育成、現組合の基礎づくりなどに貢献した7人に感謝状と記念品が贈呈された。

式では受賞者を代表して、前市長の東門美津子氏が「国指定の伝統的工芸品である知花花織が、これからも、さらに大きく花開くことを期待する」とあいさつした。

受賞者は、次の通り（敬称略）

仲宗根正和・仲宗根健昌・故佐久田朝政・島袋善栄・新里八十秀・幸喜新・東門美津子・大宜見良子



▶知花花織の振興に寄与した受賞者（前列7人）と関係者達



▶この日の文化活動支援助成金交付団体の代表の皆さん

子ども達への文化継承を支援

沖縄市子どもの文化活動支援助成金交付式

今年度から始まった子どもの文化活動支援助成金の交付式が7月30日に市役所で行われた。交付を受ける団体は、海邦町創作エイサー子ども育成会（山下寛代表）、沖縄市ジュニアオーケストラ（花城可雅代表）、登川子ども会（屋宣芳代表）、知花子ども会城太鼓（池原秀樹代表）の4団体。助成金は、三線や和太鼓などの購入費用、交流遠征費、活動費などに活用される。交付を受けた海邦町創作エイサー子ども育成会の山下千裕さんは「設立して間もない子ども会ですが、エイサーを通して地域愛を育てていき、将来はエイサー団体の一つになれるように頑張りたい」と話した。

今月の人



差別なく誰もが交流できる
明るい市民であるように

280

なかむら
仲村 カツ子さん (72)

人権擁護委員は、いじめや差別、近隣住民とのトラブル、インターネットでの誹謗中傷、プライバシー侵害など、日常生活の中で起こる人権上の問題や悩み事の相談に応じ、一緒に解決に向けて取り組む地域の相談相手である。

今回は7月から人権擁護委員4期目を務める仲村カツ子さんに話を聞いてみた。

仲村カツ子さんは、52歳の頃から沖縄市役所保護課のケースワーカーとして、生活保護受給者の安否確認、戸別訪問、生活や自立に関する相談など、様々な福祉支援を務め、平成17年に市平和男女共同課の推薦で、人権擁護委員に委嘱され、今年で10年目(4期目)となる。

人権擁護委員とは、日常生活の中で起こる人権侵害や、悩み事の相談を受け、問題解決の援助を行い、地域住民が幸せに過ごすために手助けをする地域の相談相手である。元教員や民生委員、PTA活動経験者、看護師、助産師、保育士など様々な専門分野の方々が法務大臣から委嘱され、人権擁護委員法に基づき、積極的な活動を行っている。例えば、高齢者や障がい者、子どもへの虐待、DV(ドメスティックバイオレンス)、学校や職場内いじめ、インターネットでの誹謗中傷や性被害などの相談に応じ、迅速な対応を行っている。

沖縄市では、7月1日に、人権擁護委員の委嘱状等伝達式が行われた。仲村さんは「沖縄市は人権擁護委員の活動が活発だ」と話す。沖縄市の人権擁護委員は、13人おり、市内小中学校に赴き、人権教室を開いている。人権教室では、インターネットでのプライバシー侵害やいじめ、暴力、仲間外れなどのテーマに基づき、生徒ら

と話し合い、友達を思いやる心の重要性和、身近にいる先生や家族に相談することを教えている。また、一人で悩まず、自分を大切にするために勇気を持って相談する「SOSミニレター」(便せん兼封筒)の紹介や周知に取り組んでいる。以前、仲村さんが小学校で人権教室を行った時、1人の児童が近づいてきて「僕はお友達と仲良くするよ、いじめたりしないよ」と、こっそり話をしてくれたことがあり、その時「人権擁護委員をやってよかった」と感じたそう。

人権擁護委員は、毎月初めに市役所1階ロビーで「人権困りごと相談」を開設している。気軽に誰でも相談できる場を提供し、様々な問題解決の援助をしている。さらに月に一度、人権擁護委員連絡会があり、その中で勉強会を行い、各委員同士で情報を共有しているそうだ。

趣味は山登り。富士山は7回登山した経験があり「登山は、自分の弱さを克服する鍛錬の場。私は逆境にめげない性分です」と話す言葉には、仲村さん自身の精神力の強さを感じさせる。

最後に、仲村さんは「沖縄市民は、誰にでも親しみ易い人柄で、国際色豊かな都市にふさわしく、差別のない地域社会を築ける市民であって欲しい」と、思いを語った。

戦後文化シニア

今月のヒストリート

■降伏文書の写しを展示

今回は、1945年9月7日に本市の字森根(現嘉手納基地内)で執り行われた南西諸島の降伏調印式について紹介します。

1945年8月26日、沖縄を攻撃した第十軍の司令官は、9月2日(日本の降伏調印日)以降に琉球列島の日本軍の降伏を受諾するよう命じられ、琉球の主要な島々に降伏を勧告するメッセージを投下。これに応じた宮古地区・徳之島・奄美大島の日本守備軍の将校たちが、9月6日に読谷飛行場に到着しています。

調印式当日の7日、米戦車やライフル小隊が参列し、大勢の米軍兵士が見守るなか、午前11時、陸軍地上部隊の楽団によるアメリカ民謡「THE OLD GRAY WAVE」(年老いた灰色の雌馬)が演奏されて、式が挙行。日本軍将校3名は6枚の降伏文書に署名し、ステイルウエル大將が降伏を受諾する署名を行うと、調印文書は署名した各日本軍将校に手渡され、式は終了しました。

この日を境に沖縄戦が終結し、戦後への歩みが始まります。

ちなみに調印場所は整備されて、現在はピースパークと呼ばれ、沖縄戦や戦後を語る歴史的財産のひとつとなっています。

終戦そして降伏調印から70年、あらためて沖縄戦や戦後を考える機会にしてみませんか。



降伏調印式の様子を伝える新聞

■ 市史編集担当/
TEL: 929-4128 (直通)
■ ヒストリート、ヒストリートII/
TEL: 929-2922

住吉自治会

区民の力を合わせて

住吉自治会(久場良孝会長)の区域は、新鮮な商品が並び「コザの台所」と呼ばれて、にぎわう中部農産市場と住宅街が広がる。自治会の自慢は毎年、夏に公民館の隣にある住吉公園で開催される盆踊りだ。飾り付けから屋台の準備まで、すべて区民達で行う手作りの祭りとなっており、当日の会場はあふれんばかりの人が集まってにぎわう。祭りでは老人クラブや女性の会のメンバー、こども達が区民と踊り、花火を

楽しみ、最後は青年会のエイサーで締めくくる。

久場会長は「自治会によって違いはあるが、多忙な現代、近所付き合いが希薄になっている。昔は誰でも近所のこどもはみんな知っていた。自治会員も減りつつあり、老人クラブや女性の会の頑張りにより自治会運営ができていく状況になっている。しかし、区域の住民達が立ち上がり、力を合わせれば何でもできると思っている。若い世代が頑張れば市の発展にもつながる」と話している。電話：9371-4631

与儀自治会

伝統を受け継ぐ自然豊かな地域

与儀自治会(仲宗根昇会長)は先祖を敬い、御願ごを大切にしている区域だ。豚の皮を編み込んだ繩を区域の入り口に張り、無病息災を祈るシマカンカーや農作物の豊作と区域の繁栄を祈願するウマチー、昔の井戸に祈りを捧げる井御願など、多くの御願ごとが引き継がれている。御嶽、上殿、神屋、慰霊の塔など、御願ごとをする場所も多くあり、区民のほか、市外の与儀出身者も手を合わせに訪れる。区民のつながりが強



鳥ぞつり教室の作品を手に笑顔を見せる区民

く、近所の住民を気にかける温かい区域でもある。また、自然に囲まれ、大きな木々が枝を広げており、平成14年にはガジュマルとデイゴの木が沖縄県の名木百選に選ばれている。

与儀自治会では、平成24年にこども会が再結成され、今年からエイサーの練習をしている。また、現在、仲宗根会長は自主防災組織の結成に向けて勉強会を開いており「安心で住みよい区域をつくり、活性化につなげたい」と話している。

電話：9331-2596



伝統行事「シマカンカー」で手を合わせ祈る地域住民

KOZA CHOICE!

今回の「KOZA CHOICE!」は、エイサー会館準備室エイサー家の「かんたん!クラフト締め太鼓」をご紹介します。エイサー家は、エイサー会館準備室としてオープンし、エイサーに関する様々な資料を収集・展示しています。歴史的価値の高い沖縄全島エイサーまつりのポスターも展示されており、中には、1959年開催の第1回コザ市・エイサーコンクールの貴重な1枚もあります。エイサー公演に関する情報も入手できるため、観光客も多く訪れる施設です。

「かんたんクラフト締め太鼓」は、エイサーの要である締め太鼓を気軽に作って楽しめるホビークラフトです。本物の締め太鼓とほぼ同じ締め方で作るので、段ボール製ながら本格的な仕上がります。

エイサー家では、「かんたんクラフト締め太鼓作り体験プラン」を行っており、スタッフが丁寧に作り方をレクチャーしています。また、できあがった太鼓の叩き方もお教えしていますので、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうかでしょう。



所在地：沖縄市上地 1-1-1
コザ・ミュージックタウン 1F
営業時間：平日/午前10時～午後8時
土日/午前10時～午後6時
定休日：祝日
問合せ：TEL 098-989-5566

KOZA CHOICE!

コザチョイス



商品名：かんたん!クラフト締め太鼓
事業所名：一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
職種：施設
代表者：仲村 富吉

KOZA CHOICE!

快適で美しい生活環境のために ポイ捨て防止公開パトロール実施

市と地域の各団体が協働し、ごみの投げ捨て行為の抑止と、環境美化活動を推進する「平成27年度ちゅうら島環境美化全県一斉清掃及びごみのポイ捨て防止公開パトロール」を7月30日に、市福祉文化プラザ付近で実施した。

同パトロールには、市職員のほか、市クリーン指導員や福祉文化プラザ児童センターでいんくるエコクラブ、愛の泉学童エコクラブなど、総勢69人が参加し、市福祉文化プラザを起点に約1.5キロの市道や県道の歩道に捨てられたごみを回収しながら、投げ捨て行為の監視パトロールを行った。同日、投げ捨て行為は、確認されなかったが、もやせるごみ約30キロを含む、合計37キロのごみが回収された。



▲監視パトロールと美化活動を行う、愛の泉学童エコクラブの子ども達

沖縄の文化や芸能を学ぶ ボリビアとペルーから研修生

市では、海外移住者の居住する国の発展に貢献しうる人材を育成し、国際交流を推進することを目的に「沖縄市海外移住者子弟研修生受け入れ事業」を実施しており、今年度はボリビアの島袋 伸さんとペルーの当山 樋口 アリシア 栄子さんの2人を受け入れている。研修期間は7月16日から9月15日までの2か月間で、日本語や三線、陶芸、生け花、書道、太鼓、琉球舞踊、琉球料理などを学ぶ。島袋さんは「祖父の演奏する三線を聞いて育った。祖父と自分のふるさとの文化を学び、ボリビアに持ち帰りたい」と語り、当山さんは「沖縄の文化や歴史、芸能を学びたい」と話し、日本や沖縄の文化を学ぶ意欲を見せた。



▲研修に訪れている島袋伸さん(左から2人目)と当山樋口アリシア栄子さん(左から3人目)

迅速な人命救助をめざして 市消防本部 交通事故救助訓練

市消防本部(高宮城寛消防長)が、7月16日に海邦町の中城湾港新港地区にある拓南製鐵株式会社敷地内で、様々な交通事故を想定した救助訓練を行った。

救助訓練は、交通事故の際、救助に必要な知識の習得と技術の向上を図り、より迅速に人命救助を行うことを目的に実施された。訓練では、拓南商事株式会社から提供された実物の車両を使用し、様々な交通事故の現場を再現して実施され、市消防の隊員らは、息の合ったチームワークで充電式油圧カッターやワイヤーロープなどを使用して救助訓練を行った。

市消防本部の平成26年度における交通事故による出動件数は53件で、救助された人は56人となる。



▲様々な交通事故を想定した救助訓練を行う市消防隊員ら

沖縄の水道技術を学ぶ 9か国の研修生が市水道局で実習

JICA地域別研修「大洋州^{どうしよ} 島嶼における水資源保管理 水道事業運営」が7月15日から17日までの日程で行われ、サモアやパプアニューギニア、マーシャル諸島など9か国から12人の研修生が沖縄市水道局を訪れた。研修は島嶼国(複数の島で構成される国)における適応性の高い水資源の管理と効率的な利用方法など、同じ島嶼である沖縄のノウハウや経験を学ぶことを目的としており、市の水道事業や配水システムの講義、配管や漏水修繕などの実習で技術を学んだ。また、山中中学校や銀天街商店街で開かれた交流会にも参加し、市民との親睦も深めた。



▲給水装置の取り付け実習を行う研修生達

「まちゼミ」で商店主が講師に 様々な講座で商店街を活性化

コザまちゼミ実行委員会（広瀬陽実^{あきひろ}委員長）は、9月11日から10月12日の期間に胡屋地区の商店街で「まちゼミ」の開催を予定しており、準備を進めている。

「まちゼミ」とは、商店街の各商店主が講師となり専門知識と情報を伝授する少人数制の無料講座で、愛知県岡崎市中心市街地の商店街で始まった取り組み。講座を通して店主と受講者の間に信頼関係が築かれ、来店者の満足度と商店の売り上げアップにつながり、中心市街地が活性化した。この成功例から「まちゼミ」は全国に広がり、現在、約190の商店街で実施されている。県内では初の試みで、4月と6月には「岡崎まちゼミの会」の松井洋一郎代表を招きセミナーを開いた。



▲まちゼミの成功に向け一致団結する商店主と関係者

夏空の下で健康づくり

かりゆしシニアクラブ「第9回ペタンク大会」を開催

高齢者の健康づくりを促進し、介護予防に繋げることを目的に、7月22日に市老人福祉センターかりゆし園の多目的広場で第9回ペタンク大会（かりゆしシニアクラブ主催）が開催された。

ペタンク競技は、ビュットと言われる小さな球（目標球）に向かって金属製の玉を投げ合い、玉をビュットの近くに止めることを競うスポーツ。

大会には3人1組の59チームが参加し、蝉の鳴き声が響く夏空の下で、参加者らはお互い声をかけ合いながら、巧みに玉を投げ、心地よい汗を流した。



▲狙いをさだめて投球

体験学習で多くのことを学ぶ

第12回阿智村小学生沖縄自然体験学習

長野県阿智村の小学生と、沖縄市スポーツ少年団の子ども達が、お互いに訪問し、自然体験や平和学習などをおしえて交流を深める第12回沖縄自然体験学習が8月8日から3日間の日程で行われ、8月10日に阿智村の児童10人が市役所を訪れた。

阿智村の児童らは、平和学習として、南部戦跡めぐりを行い、自然体験学習として、うるま市浜比嘉ビーチで本市スポーツ少年団と共に海水浴をするなどの交流を深めた。初めて沖縄を訪れた阿智村の原幸花さんは「沖縄の海は、とても青く澄んでいて綺麗でした。そして、戦争でとても多くの悲しいできごとがあったことを学びました」と体験学習の感想を述べた。



▲沖縄のことに多くのことを学んだ阿智村の児童たち

身近な問題を共に解決

人権擁護委員委嘱状等伝達式

人権擁護委員への委嘱状等伝達式が7月21日に市役所で行われた。人権擁護委員は、人権に関する悩み相談を受け、解決に向けて日々取り組んでおり、式ではこれまで長く人権擁護に寄与した、与儀マリ子さん、末吉惟倫^{のぶとし}さん、仲間辰茂^{たつしげ}さんに感謝状が贈られた。感謝状を贈呈された末吉さんは「問題が多岐にわたる人権擁護活動は、自分自身にとっても有意義なものとなった。人権擁護委員の活動は、取り組み甲斐のある活動なので頑張ってください」と新任の委員を激励した。

新しく人権擁護委員に委嘱された方は、仲宗根恵子^{けいこ}さん、伊禮悟^{さとる}さん、高宮城修^{おさむ}さん、勝連美智子^{みちこ}さん、喜瀬照夫^{てるお}さん、鳥袋栄^{さかえ}さんの6人。



▲人権擁護委員の皆さん

人と文化がふれあうまつり 豊中市と沖縄市が交流

豊中まつり大盛況 沖縄芸能も披露され盛り上がる



▲エイサー演舞など、沖縄の芸能や音楽でにぎわった沖縄音舞台

兄弟都市の大府豊中市で、8月1日と2日に「豊中まつり2015」が、同市の豊島公園を会場に開催された。まつりは豊中市民が中心になって開催されているもので、毎年、沖縄の文化や芸能も披露される。今年のまつりでも「沖縄音舞台」が設営され、沖縄のアーティストが多数登場し、ミュージックライブが行われたほか、ピースフルラブ・ロックフェスティバル2016の出演者オーディションやエイサーの演舞も行われた。来場者は沖縄の音楽と芸能を楽しみ、フィナーレのカチャーシーでは盛り上がり最高潮に達した。また、沖縄音舞台の会場には、沖縄市観光物産振興協会や沖縄市料理飲食業組合も出店し、沖縄料



▲ピースフルラブ・ロックフェスティバルのオーディション
グランプリ「さしすせそ」

理や沖縄市限定のエイサーグッズなどが販売された。さらに、カンカラ三線づくりやシーサーの色付け体験のブースも設営され、ステージでは作成した三線による演奏も披露された。その他にも、まつり会場には「I LOVE TOKYO NAKA」や「市民ふれあい広場」、「盆踊り」、「きらめき商店街」、「まいど商店街」など多くのイベント会場が設営され、ダンスコンテストや高校生バンドフェスタ、謎解きゲームなどが催され、多様な屋台が軒を連ね、来場者を楽しませた。まつりは両日も晴天に恵まれ、会場には2日間で17万3900人が足を運んだ。



▲市民が輪になって踊る盆踊り



▲毎年人気のシーサー色付け体験



▲まつり会場を練り歩くちんどん屋



▲盛り上がる沖縄音舞台のステージ



▲ダンスコンテスト優勝の「IHDC」



▲カチャーシーで観客は熱狂

青年達の勇壮な演武

第11回あがりな一ざとエイサーまつり

青少年の健全育成や地域の活性化と交流、エイサー文化の継承を目的に、7月19日に第11回あがりな一ざとエイサーまつり(同実行委員会主催)が宮里中学校のグラウンドで開催された。

まつり会場は、開始直後に豪雨となり、進行が一時中断したが、天候は次第に回復し、午後6時頃から越来青年会のエイサーで再開した。雨でグラウンドはぬかるんでいたが、8つの青年会(越来・南桃原・那覇市真和志・山里・室川・松本・諸見里・東)が勇壮な演武を披露し、集まった観客を魅了した。また、まつり後半ではゲスト出演の西泊茂昌さんがライブを行った。最後は出演者や観客がカチャーシーを踊り、まつりは大いに盛り上がった。



▶力強い演武を披露する東青年会



▶山里青年会の勇ましい演舞

地域連携のエイサーまつり

山内中学校区 風山祭で盛り上がる

山内中学校のグラウンドで7月26日に第16回風山祭(同実行委員会主催)が開催された。

まつりは地域の活性化や青少年の健全育成を目的としており、山内中学校区の青年会を中心に、学校や自治会などが協力して開催された。まつりには山内中学校区の南桃原・山内・久保田・諸見里・山里青年会のほか、市内外の青年会や大学、諸見里と南桃原のこども会が出演し、エイサー演舞を行った。また、山内中学校吹奏楽部の演奏やマハロ・フラ・スタジオのフラダンス、壺屋華鳳会と首里金城町の旗頭演舞も披露され、来場者を楽しませた。

コザのまちが活気づく

第4回 コザエイサーまつり

コザ中学校区にある中の町青年会と園田青年会、胡屋青年会が中心となって、第4回コザエイサーまつり(同実行委員会主催)が、コザ中学校の運動場で8月2日に行われた。

同まつりは、「コザのまち」の発展と、エイサーなどの伝統文化の継承、地域が一体となり、まちを活性化することなどを目的に開催されている。

快晴のもと、中の町こども会と園田こども会の、こども会エイサーで始まったまつりは、市内外の10団体が、次々と勇壮なエイサーの演舞を披露し、最後は、出演者と観客でカチャーシーを踊り、大いににぎわった。



▶まつりのトリを務めた園田青年会



▶全国大会優勝を誓う安慶田ライオンズのこども達

県内初のティールボール大会で準優勝

安慶田ライオンズ 全国大会へ

県内初の公式大会となる第1回おきなわエンジョイ・ティールボール選手権大会(日本ティールボール協会沖縄県連盟主催)が7月4日に行われ、本市の少年野球チーム安慶田ライオンズが準優勝し、埼玉県で開催される全国大会への出場が決まり、8月12日に狩俣教育長を訪ね報告を行った。報告で4年生クラス・キャプテンの大城海夢くんは「埼玉に行くって優勝する」と意気込みを語った。

ティールボールは野球に似た競技で、一番の違いは、打者がスタンドティと呼ばれる棒の上に置かれたボールを打つところ。年齢や障がいなどに関係なく誰でも楽しめるスポーツ。

児童生徒が記録を競い合う

市小中学校陸上競技大会

基礎体力や競技力の向上と学校間の交流を図り、心身に健全な児童生徒を育成しようとして、7月18日に市陸上競技場で平成27年度沖繩市小中学校陸上競技大会が開催された。



▲力いっぱい遠投



▲助走から思い切りジャンプ



▲1位を目指して力走



▲号砲と同時に飛び出す選手達

大会には市内16小学校と7中学校から689人が出場し、27の競技で奮闘した。総合成績は、小学校の部で高原小が1位、比屋根小が2位、山内小が3位だった。中学校の部は宮里中が1位、美里中が2位、沖繩東中が3位だった。応援団賞には山内小が選ばれた。

大会新記録は次のとおり。

【小4女子走幅跳】玉城来葉たまぎのこ（美東小）|| 3 m 61 cm

【小6女子走幅跳】徳田珠月みづき（宮里小）|| 4 m 54 cm

県大会で活躍 九州、全国へ

コザ中 女子バスケット 男子剣道

コザ中学校女子バスケットボール部が、7月20日から22日までの日程で開催された「第57回沖繩県中学校バスケットボール大会」で優勝した。中頭地区大会では惜しくも準優勝で、くやしさをバネに大会に臨み、昨年到现在2連覇。また、同校剣道部の許田竜憧くんが7月12日に県立武道館で開催された「第60回沖繩県中学校剣道競技大会」の個人戦で準優勝し、九州大会と全国大会の出場

が決まった。7月27日に選手達が狩俣教育長を訪ね、成績の報告を行い、九州大会に向けての抱負を語った。女子バスケットボール部キャプテンの仲村渠若奈さんは「九州制覇を目標にチーム一丸となり、全国大会出場の報告をできるように頑張る」と意気込みを語り、剣道部の許田くんは「全力を尽くし、良い成績を残せるように頑張る」と抱負を話した。



▶好結果に笑顔を見せるコザ中の生徒達



▶九州大会出場と県代表に選出された美東中の生徒達

美東中から嬉しい報告

硬式テニス・空手・吹奏楽で九州大会出場

美東中学校（飯島正仁校長）の生徒らがスポーツと吹奏楽で沖繩県代表となり、校長や指導教諭らとともに、7月31日に狩俣教育長を訪ね、九州大会出場の見聞を行った。

報告に訪れたのは、中体連九州大会で男子硬式テニス男子シングルの部に出場する屋宜亮気くんりやまと空手男子個人形の部に出場する大城漱嵐くんせうらん。九州吹奏楽コン

クールに出場する吹奏楽部を代表して、部長の銘苺ひなたさんと副部長の鈴木梨なつさん。JOCカップ第29回全国都道府県対抗中学バレーボール大会県代表の、男子選手に選出された池城浩太郎さんと、女子選手に選出されたジョーンズ梨花アレキシアさん。生徒らは、それぞれ抱負を語り、大会で優勝する決意を述べた。

創立70周年の節目に快挙

「コザ高が県高校総体で総合優勝5連覇達成

平成27年度県総合体育大会が5月から6月にかけて開催され、県立コザ高等学校(仲田洋一校長)が卓球やバドミントン、空手、ラグビー、陸上競技、水泳で優勝し、5年連続の総合優勝を果たした。8月4日に生徒をはじめ、仲田校長と教諭らが、桑江市長を訪ね、喜びの報告を行った。

大会で優勝し、県代表に選ばれた、女子卓球部主将を務

める我部彩香^{あやか}さんは「県代表になれて嬉しい。全国大会では、気持ちで負けないよう頑張ります」と意気込みを話した。また、仲田校長は「本校は体力、知力共にバランスが取れており、真の文武両道の校風を持ち得ている。伝統と格式あるコザ高等学校の創立70周年の節目に、総合優勝5連覇を達成できたことは誇り」と喜びを語った。



▶県高校総体5連覇を果たしたコザ高等学校の生徒と教諭ら

あわせJRCとアンテロープが活躍

第31回 全国小学生陸上競技交流大会 出場

本市の小学生が所属している陸上クラブの、あわせJRCと沖縄アンテロープ陸上クラブが7月4日に、沖縄県総合運動公園陸上競技場で行われた日清食品カップ 第31回全国小学生陸上競技交流大会で好成績を収め、県代表に選ばれた。児童らは7月30日と31日に狩俣教育長を訪ね、全国大会出場の報告を行った。訪れた児童らは、8月22日に、神奈川県の日産スタジアムで開催される、全国大会での優勝を誓った。

参加する児童は次のとおり。
 【あわせJRC】走幅跳 男子・金城広(泡瀬6年) / 走高跳 女子・生田祐衣(泡瀬6年)
 【沖縄アンテロープ陸上クラブ】400mリレー男子・赤嶺翔(浦添6年)・仲本陸夏(美原6年)・坂本聖弥(北中城6年)・島袋桐語(渡慶次6年)・胡屋晴飛(諸見5年) / 400mリレー女子・照屋心音(越來6年)・村吉優奈(北中城6年)・新里保乃夏(北中城6年)・安里妃菜(越來6年)・大城裕里瑠(北中城6年)



▶海外での貴重な体験に期待をふくらませる

アメリカに渡り見聞を広める 中学生海外短期ホームステイ

国際文化観光都市を宣言している本市の次代を担い、国際社会で活躍できる人材を育成することを目的に実施している「沖縄市中学生海外短期ホームステイ派遣事業」の出発式が7月21日に市役所で行われた。

今年度も市内の8中学校から12人の生徒が参加し、7月29日から8月21日まで、アメリカ合衆国のワシントン州ピュアラップにホームステイする。アメ

リカでは商業施設や公共施設の訪問見学、自然体験、ボランティア活動、英語の授業などを通して語学学習や文化交流を行う。出発式で美東中学校の仲宗根小華^{こはる}さんは「市の代表として『ギブ&テイク』『チャレンジ精神を持つ』『明確な目的を持つ』の3つを目標に参加したい。アメリカで日本や沖縄の良さを伝え、沖縄ではアメリカで学んだことを伝えたい」と意気込みを話した。



▲あわせJRCの児童と関係者達



▲沖縄アンテロープ陸上クラブのリレーメンバー

夜の動物園は大盛況

沖縄こどもの国 サタZOOナイト

沖縄こどもの国で、夏休みの恒例イベント「サタZOOナイト」が7月18日から8月29日までの毎週土曜に開催された。

サタZOOナイトは、こども達の夏休みにあわせて、開園時間を午後9時まで延長するイベントで、午後6時から、園内がライトアップされたほか、ワニやカバのエサあげが間近で見られる「動物たちのもぐもぐタイム」、ウサギやヤギ、サルなどへのエサやりが体験できる「動物たちへのエサあげ体験」、乗馬体験などが行われ、訪れた多くの観客は、普段とは一味違った、夜の動物園を楽しんだ。



カバのエサあげは、こども達に大人気



ぬいぐるみのように愛らしい美月ちゃん

ツキノワグマがやってきた

沖縄こどもの国に美月ちゃんが仲間入り

沖縄こどもの国に、長崎県佐世保市の九十九島動物園「森きらら」から二ホンツキノワグマの美月(3歳・メス)が7月16日に到着し、18日から一般公開が始まった。

去る5月8日に、36年間飼育されていたエゾヒグマのナナが死んで、沖縄こどもの国にはクマがいない状況だった。

美月は、野生の二ホンツキノワグマが子別れる年齢となっており、今回、初めて母親と離れることとなる。新しい環境を探索するように、歩き回る美月に、訪れた観客からは「大きな『ぬいぐるみ』みたいでかわいい」と、早くも注目の的になっている。

県内初の大型プールを楽しむ

東南植物楽園「わくわく夏休み冒険がっつりZOO」開催

市知花にある東南植物楽園が、夏休みのイベント企画として「わくわく夏休み冒険がっつりZOO」を、7月25日から8月31日まで開催した。15」を、7月25日から8月31日まで開催した。プレオープンイベントは、当初7月24日を予定していたが、台風第11号の影響により1週間遅れ、7月31日のオープンとなった。イベントには、知花こども会のことと達と保護者ら約80人が招待された。招待されたこども達は、同施設内植物園での昆虫展を見学後、県内初で直径20メートルの大型屋外エアプールに入り、エア遊具のふあふあバウンシーや、高さ9メートルもあるエア滑り台のフットスライダーなどの遊具で元気に遊び、楽しい夏休みの思い出のひとつにした。



プール遊びを楽しむ知花こども会のことたち



水辺遊びを楽しむ人々

森林やダムについて理解を深める

倉敷ダム 森と湖に親しむ旬間行事

人々が森と湖に親しみ、心身をリフレッシュしながら、森林やダムなどの重要性について、理解を深めることを目的に、毎年夏に森と湖に親しむ旬間行事が全国で開催されている。

8月2日に倉敷ダムで、比屋根小学校6年生の児童74人によりハイビスカスが植樹されたほか、行事期間中は、倉敷ダム施設見学やビデオ上映なども行われた。

また、夏休みの時期になると倉敷ダム施設内の水辺周辺では、多くの家族連れが集まり、青空のもと、水遊びを楽しむ姿がみられ、子ども達からは「冷めたくて気持ちいい」と、明るい声が聞かれた。

「未来のビーチを体感しよう」

Let's フラダンスIN 東部海浜

東部海浜開発計画の早期実現と事業の推進活動の一環として、市民に新しく誕生する県内最大級の人工ビーチを体験してもらおうと、海の日の前日の7月19日に、沖縄市東部海浜開発推進協議会（新垣直彦会長）が、「未来のビーチを体感しよう」Let's フラダンス IN 東部海浜」を開催した。



▲ステージでは華やかなフラダンスが披露された



▲宝探しゲームは、こども達に大人気



▲砂浜遊びの定番、スイカ割り

加し、総勢100人が出演するフラダンスショーやハワイアンのバンド演奏のほか、宝探しゲームやスイカ割りに加え、東部海浜開発事業のパネル展示や生き物と触れ合う環境学習、海の生き物を観察できるスノーケリング体験教室が行われ、未来のビーチは多くの人でにぎわった。

東部海浜開発事業の進捗について

本市のスポーツコンベンション拠点づくりとして、現在、国（沖縄総合事務局）によって泡瀬地区の埋立工事が進められており、これと並行して、本事業の目玉でもある「人工ビーチ（海浜緑地）」の整備が沖縄県において進められているところで、現在、予定地の一部に砂（浜）が投入されています。

平成27年度は、国が護岸工事やしゅんせつ工事（埋立土砂として泡瀬地区へ投入）を予定し、沖縄県が人工ビーチの養浜工事（砂浜の整備）や橋梁・仮栈橋の工事のほか、護岸を整備するための地盤改良工事をする予定となっております。

また、本市においては、干潟などを活用した、環境利用学習や事業説明会に取り組みと共に、東部海浜開発事業のPR活動や東部海浜開発地域活性化推進事業による花火の打ち上げなどに取り組み予定です。

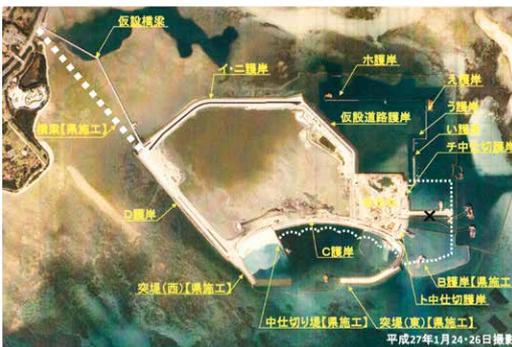
今後とも、本事業の早期実現に向けて、国・県・市が一体となって取り組んで参ります。

沖縄市役所建設部
東部海浜開発局計画調整課

▼平成27年度の工事予定（国・県）



▼平成26年度までの進捗状況（航空写真）



進捗状況及び工事予定図は「平成27年度第1回中城湾港（泡瀬地区）環境監視委員会」資料より

毎日プラス二皿の野菜を！

生活習慣病、中でも高血圧の改善については野菜の摂取量を増やすことが効果的。目指すは今よりプラス70g、副菜の小鉢をおおむね一皿分です。

野菜をしっかりと摂るためのコツとして、①火を通すとカサが減り食べやすい②カット、冷凍、乾物野菜を使って下処理を省く③具だくさんの汁物にする④ゆでる、薄く塩をまぶすなどして日もちをよくする⑤主菜に付け合わせの野菜を添えるなどがあります。

先月に引き続き、火を使わず短時間でさっと作れる野菜のメニューを紹介いたします。

ゴーヤーのさっぱり和え

（材料4人分）

- ゴーヤー……1本
- 玉ねぎ……1/4個
- 塩……少々
- 酒……大さじ2
- パイン缶……小1缶
- 酢……大さじ1/2
- 砂糖……大さじ1/2



作り方

- ①ゴーヤーは縦半分にとって種とわたをとり薄切り、玉ねぎも薄切りにして塩をふってしばらくおき、水気をしぼる。
- ②パイン缶は食べやすい大きさに切る。
- ③全ての材料を合わせて和える。

◆1人分/35キロカロリー

市民健康課

（内線2241）

お知らせ

暮らし

老齢基礎年金繰上げ受給と繰下げ受給

老齢基礎年金は、原則として65歳から受けることができますが、希望すれば60歳から65歳になるまでの間でも請求した時点（月単位）に応じて減額された年金を受け取ることができます。

繰上げ受給を請求した場合の注意点

○特別支給の老齢厚生（退職共済）年金の定額部分の一部が支給停止されます。

○65歳になるまでは遺族厚生（遺族共済）年金と一緒に受けることができます。

○次のことができなくなる場合もあります。

- ・障害の程度が重くなった場合に障害年金を受け取ること
 - ・寡婦年金を受け取ること
 - ・国民年金に任意加入すること
 - ・保険料を追納すること
- 繰上げ請求を取り消すこと（減額された金額は一生変わりません）

又、希望すれば、66歳以降から繰り下げて老齢基礎年金を受け取ることができ、請求した時点（月単位）に応じて年金が増額されます。

問合せ／市民課 国民年金担当
内線(2130・2131)

コザ年金事務所

☎9333-3437
☎9333-3438
☎9333-3439

沖縄市電話催告センターを開設します

沖縄市電話催告センターは、市税（市県民税、固定資産税、軽自動車税）を期限内に納めていない方に対して、電話や文書による催告を行います。

運営開始／10月1日（木）
問合せ／納税課
内線(3261)

JJMCの相談窓口のご案内

9月10日から16日まで自殺予防週間です。沖縄市では、関係機関と連携し、こころの健康に関する相談を行っています。

■こころの悩み全般の相談
時間／午前10時～午後11時
沖縄ののちの電話事務局
電話相談 ☎888-4343
■こころの健康や受診に関する相談

曜日／月～金曜日
時間／午前9時～11時30分、午後1時～4時
中部福祉保健所
電話相談 ☎938-9700
問合せ／障がい福祉課
内線(3156)

悩んでいませんか？職場でのセクシュアルハラスメント

セクシュアルハラスメントで会社に対応しない場合や、社外で相談したいときは「雇用均等室」にご相談ください。相談に応じ問題解決のお手伝いをします。相談料は無料、プライバシーを守るため、匿名での相談も可能です。

問合せ／沖縄労働局 雇用均等室
☎868-4380

9月10日は下水道の日

下水道の日を機に、未接続世帯への普及活動や、パネル展示を行います。

◎改造資金貸付制度

下水道課では、トイレを公共下水道に接続する場合、改造資金の無利子貸付を行っています（貸付上限30万円、毎月5千円の償還）。

随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。
◎下水道に関するパネル展示期間／9月7日（月）～11日（金）
時間／午前8時30分～午後5時15分
場所／市役所1階市民ロビー
問合せ／下水道課
内線(2534・2535)

第55回下水道の日推進標語『忘れない 暮らしの下に下水道』

平成27年国勢調査のおしらせ

■平成27年国勢調査が、全国いっせいに実施されます

国勢調査は、統計法という法律に基づいて、日本に住んでいるすべての人・世帯を対象として、5年ごとに実施される統計調査です。

調査結果は、少子高齢化対策、防災対策、地域創生などの重要課題に対する施策に活用されるとともに、国民全員の共有の財産として、広く一般の方にもご利用いただけます。

■今回の国勢調査から、インターネットでも回答ができます

今回の国勢調査から、従来の調査員への提出又は郵送で提出いただく方法のほかに、インターネットでもご回答いただけるようになりました。また、パソコンだけでなくタブレット端末やスマートフォンからもご回答いただけます。

■9月上旬から調査員が各世帯におうかがいします

調査員が皆様のお宅を訪問し、調査書類をお配りします。この調査では、先にインターネットでの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった世帯には紙の調査票を配布して調査を行います。

※国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください!

※調査員は、「身分証(顔写真付)」を身につけています。訪問の際は、調査員証をご確認下さい。

調査についてのお問い合わせは 設置期間：平成27年10月31日まで（土・日・祝日もご利用いただけます）
受付時間：午前8時～午後9時

国勢調査コールセンター

☎0570-07-2015 IP電話の場合：03-4330-2015

※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

問合せ／国勢調査沖縄市実施本部（本庁地下1階）
政策企画課 統計担当 内線(2384・2385)

私立幼稚園・公立保育園・認可(外)保育園に通う

平成28年度 小学校新1年生 視力・聴力検査のお知らせ

○公立幼稚園児の視力・聴力検査は各園で実施します。

日時	場所	対象校区
9月16日(水) 受付: 午後2時～3時30分	沖縄市体育館 (メインアリーナ)	泡瀬小、山内小、諸見小、室川小、 中の町小、安慶田小、宮里小、 比屋根小
9月17日(木) 受付: 午後2時～3時30分		美東小、高原小、北美小、美里小、 コザ小、美原小、越来小、島袋小

◆対象者には健診票を発送しています。◆後日、各学校において入学受付・内科、歯科健診を行います(10月開始予定)。事前に今回の視力・聴力検査をお済ませください。なお、当日の健診費用は無料です。

問合せ／教育委員会 指導課 ☎939-7976(直通)

平成27年度 第1回 不動産公売の実施について

広報おきなわ8月号に掲載した「不動産公売の実施について」の追加情報をお知らせします。

※8月号に掲載した公売物件の内、売却区分番号「合 27-沖縄 3」、「合 27-沖縄 9」については公売中止となりました。※公売手続きについてのご説明や公売財産の状況についての詳細は、納税課へお問い合わせください。見積価額は後日広告いたします。

問合せ／納税課 不動産公売班 内線(3264~3275)

平成27年7月の消防活動状況

- ◆救急出場件数・・・609件
- ◆救急搬送人員・・・552人
- ◆火災出場件数・・・9件
- ◆救助出場件数・・・3件

救急車の適正利用にご協力をお願いします

問合せ／沖縄市消防本部
警防課 ☎929-0900

催し

第41回 沖縄市畜産共進会を開催します

市内の畜産農家により出品された優良家畜(牛や山羊など)の審査及び表彰を行います。

日時／9月3日(木) 午前10時
場所／沖縄市農民研修センター広場
問合せ／農林水産課 畜産係
内線(3234)

あなたの「宝物」消毒します

郷土博物館では例年、所蔵資料を殺虫消毒しています。大切な書類や衣装などの消毒をご希望の方はご連絡ください。

期間／9月18日(金)～24日(木)

音のページェント 第4回根音ワマチー開催

琉球古典音楽や民謡、伝統芸能のステージの他、観客が参加して「ていんさぐぬ花」を合唱するプログラムもあります。

日時／10月10日(土)、11日(日) 両日午後5時
場所／ミュージックタウン前特設ステージ
入場料／無料
出演者／りんけんバンド、でいご娘、神谷幸一、前川守賢、仲宗根創、知念こずえ、園田エイサーほか
問合せ／ミュージックタウン音市場 ☎932-1949

法律と調停の無料相談会

予約不要で法律と調停の相談をしていただけます。

■「法の日」司法書士無料法律相談
日時／10月1日(木)
午前10時～午後4時

定員／10人(先着順)
申込開始／9月1日(火)
申込方法／電話受付(消毒を希望するものの種類、大きさや量などをお知らせください。)
※郷土博物館への搬入及び受け取ができる方が対象となります。
搬入／9月18日(金)午後
受取／9月24日(木)午前中
申込・問合せ／沖縄市立郷土博物館 ☎932-6882

苦手な面接克服セミナー

面接で、自分自身を上手にプレゼンテーションするためのヒントや心構えが学べます(求職活動実績認定対象講座)。

講師／新垣 亜希氏(キャリア&ブランドコンサルタント)
日時／9月30日(水)
午後1時30分～3時30分
場所／沖縄市役所 入札室(地下1階)

定員／20人(先着順)
受講料／無料
申込方法／電話受付
募集開始／8月24日(月)～
申込・問合せ／沖縄市就労支援センター
☎934-3837

無料調停相談

日時／10月2日(金)
午前10時～午後4時
場所／沖縄市農民研修センター

相談内容／調停相談(離婚、遺産分割、相続、土地・建物、金銭の貸し借り、交通事故など)
問合せ／コサ調停協会
☎939-0011
内線(311)

沖縄市消防本部 救急フェア2015

行動に移すことで助かる命がある。突然死から人を救うのは、現場に居合わせたあなた! ひとりでも多くの人を救うきっかけになればという思いを込めて救急フェアを開催します。

日時／9月19日(土)・20日(日)午後1時～4時
場所／沖縄こどもの国
参加料／無料 ※ただし、別途沖縄こどもの国入場料が必要です。
※応急手当体験の予約は不要です(当日先着順)

◆消防本部では、毎月救命講習を行っています。

- ・普通救命講習Iのご案内
9月12日(土)午前9時～正午 消防署(美里) 定員30人
9月29日(火)午後2時～5時 泡瀬出張所 定員15人
受講料／無料 ※定員に達し次第締切
受付時間／午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日を除く)

*「普通救命講習Ⅲ」「上級救命講習」の日程はお問い合わせください。

申込・問合せ／沖縄市消防本部 警防課 ☎929-0900

性同一性障害という『ありのままの自分を輝かせる方法』ギフトから学んだ

～いろんな生きづらさを抱えて生きるすべての方に～
女性として生きること違和感を持ち続けた日々と、男性へと性別変更するまでの過程、夢を実現した喜びをお話していただけます。

講師／澤岷 良心氏(株式会社rainbow innovation代表取締役)
日時／10月17日(土) 午後2時～4時
場所／沖縄市男女共同参画センター 会議室
定員／20人(申込多数の場合は抽選)
受講料／無料 託児／無料・要予約(満6か月～小学4年生)
申込方法／直接来所または電話、メールにて受付 申込締切／10月7日(水)
申込・問合せ／沖縄市男女共同参画センター ☎937-0170
E-mail: a32sankaku@city.okinawa.okinawa.jp 午前9時～午後5時(土日・祝日を除く)

臨時福祉給付金 申請受付中!!

支給対象となる方／平成27年度分 市町村民税(均等割)が課税されない方
ただし、課税されている方に生活の面倒を見てもらっている場合(住民税において、どなたかの扶養となっている場合)や生活保護の受給者である場合などは対象となりません。
申請手続／申請書(※)に必要事項を記入押印し、必要書類を添付して申請して下さい。※市より、対象となる方及び対象候補となる方へ7月中旬に発送しています。

■申請期限・・・平成28年1月15日(金)消印有効

問合せ／「臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金」
窓口:本庁地下2階 ☎894-6122(直通)

募集

建物除去費の一部を支援します

中心市街地内の古い建物を除却し、新たに共同住宅を整備する方に対し建物除去費の一部(2分の1以内)を支援します(沖縄市中心市街地共同住宅整備促進事業)。

※対象要件や応募書類などについてはお問合せいただくか、市ホームページをご覧ください。

平成28年度 発達支援保育の募集について

市内在住で、心身の発達に何らかの遅れなどがあり、発達の支援が必要な児童を保育します。

※保護者の仕事や病気などで十分な保育ができない場合や、集団保育が可能な児童であることなどが要件です。

決定方法/市の心理士による判定後、沖縄市発達支援保育協議会において協議を行います。

※発達支援保育が内定した際は後日、保育所入所の申込をしていただきます。

保育期間/平成28年4月1日

〔平成29年3月31日
受付場所/保育・幼稚園課
募集期間/10月1日(木)~
30日(金)〕

※期間内の申込みができない方はご相談ください。

申込・問合せ/保育・幼稚園課
内線 (3133)

災害時要援護者避難支援事業 体験型講座

あらゆる災害の体験を通して、危機意識を高め、災害に対する備えについて学習します。

日時/9月10日(木)午後2時
場所/沖縄市消防本部 防災研修センター(1階)

対象/要援護者及びその家族、自主防災組織、自治会長、民生委員・児童委員、一般市民
定員/20人(先着順)

受講料/無料
申込・問合せ/高齢福祉課
内線 (3143)

認知症の人の「ミニケース」のとり方

認知症の人の気持ちを理解し、声のかけ方や接し方などを講義と実践で学びます。

日時/9月25日(金)
午後1時~3時

場所/沖縄市社会福祉センター
受講料/100円
申込・問合せ/高齢福祉課
内線 (3169)

医師に学ぶ!女性・男性の更年期症状のあれこれ!

■女性特有の更年期について
講師/西垣はな絵氏(たから産婦人科医師)

日時/10月2日(金)
午後7時~9時

対象/市内在住・在勤・在学の女性

■男性特有の更年期について
講師/渡辺 信幸氏(沖縄徳洲会こくろクリニック院長)

日時/10月7日(水)
午後7時~9時

対象/市内在住・在勤・在学の男性

【各講座共通】

場所/沖縄市男女共同参画センター会議室
定員/20人(申込多数の場合は抽選)

受講料/無料
託児/無料・要予約(満6か月から小学4年生)

申込方法/直接来所または電話、メールにて受付

申込締切/9月24日(木)

申込・問合せ/沖縄市男女共同参画センター
☎637-0170

E-mail: a32sankaku@city.okinawa.okinawa.jp

※午前9時~午後5時(土日・祝日を除く)

沖縄市スポーツデイ開催のお知らせ

10月12日(月)体育の日に、コザ運動公園にて沖縄市スポーツデイを開催します。この機会に、家族や友人とスポーツの秋を過ごしませんか。
*動きやすい服装と室内履き持参でお越しください。

◆新体力テスト

内容/年代別の全6種目で体力年齢が分かります。
時間/午前9時~正午(所要時間約30分)
場所/沖縄市体育館にて当日受付

◆施設無料開放

時間/午前9時~午後10時
対象施設/コザ運動公園内沖縄市立総合運動場内の全施設※ただし、トレーニングルームは通常料金(新規の方のみ無料)。

申込/沖縄市体育協会窓口(陸上競技場内)にて当日受付※施設は、大会や体験イベント終了後に開放します。当日の利用状況は窓口にてご確認ください。

◆無料スポーツ教室・体験コーナー

時間/午前9時~午後3時
申込方法/電話受付
○教室:テニス、バスケット、トランポリンなど
○体験コーナー:卓球、パドミントンなど
○講義&実技:正しい体の動かし方4スタンス理論
※各教室・体験コーナーの時間などはお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

申込・問合せ/市民スポーツ課 ☎932-1294
施設の利用について/沖縄市体育協会 ☎932-0777

FC琉球 試合日程

会場/沖縄県総合運動公園陸上競技場

FC琉球 vs Jリーグ・アンダー22選抜
日時/9月6日(日) キックオフ/午後7時

FC琉球 vs グルージャ盛岡
日時/9月20日(日) キックオフ/午後5時

FC琉球 vs 藤枝MYFC
日時/10月4日(日) キックオフ/午後3時

FC琉球 vs レノファ山口FC
日時/10月11日(日) キックオフ/午後3時

入場料	
S席	
前売	当日
大人: 1,500円	大人: 2,000円
中高・大学生: 800円	中高・大学生: 1,000円
小学生: 300円	小学生: 300円

A席	
前売	当日
大人: 1,000円	大人: 1,500円
中高・大学生: 300円	中高・大学生: 500円
小学生: 無料	小学生: 無料

問合せ/FC琉球 事務局 ☎925-0547

琉球ゴールデンキングス 試合日程

ISLAND GAMES OKINAWA 2015
会場/沖縄市体育館

琉球ゴールデンキングス VS トヨタ自動車 アルパルク東京
日時/9月9日(水) 試合開始/午後7時30分

琉球ゴールデンキングス VS 三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋
日時/9月11日(金) 試合開始/午後7時30分

【入場料】

- ・コートサイドA 前売¥4,000 ※当日同じ
- ・指定席センター 前売 ¥3,000 当日 ¥3,500
- ・指定席アリーナ 前売 ¥2,800 当日 ¥3,300
- ・2階指定席 前売 ¥2,800 当日 ¥3,300
- ・2階自由席 (大人)前売 ¥1,800 当日 ¥2,000 (子供)前売 ¥900 当日 ¥1,000

問合せ/沖縄バスケットボール株式会社 ☎897-7331
キングス公式サイト
<http://www.okinawa-basketball.jp/>

第39回沖縄市産業まつり 出展者募集

開催期間／平成28年1月23日(土)～24日(日)
午前10時～午後6時(最終日は5時まで)
出展場所／沖縄県総合運動公園体育館及び周辺広場
受付期間／9月1日(火)～30日(水)
※午前9時～午後5時(土日・祝日を除く)
募集部門／飲食、物産、工芸、工業関係、農林水産関係
問合せ／経済文化部
商工振興課 内線(3227)
農林水産課 内線(3235)

沖縄市文化祭 作品募集

11月に沖縄市体育館にて開催予定の平成27年度 沖縄市文化祭に展示する作品を募集します。
受付日時／9月14日(月)～18日(金)
午前9時～午後5時
※書道部は9月26日(土)午後1時
受付場所／沖縄市文化協会(沖縄市文化センター4階)
対象／市内在住または在職の方及び文化協会の会員の方
出品料／1,500円(会費納入済の文化協会員は不要)
※各都ごとに作品規定があります。詳細はお問い合わせください。

問合せ／沖縄市文化協会
文化観光課
☎ 93216883

平成28年 沖縄市成人式典 の抱負発表者・司会者募集

平成28年1月10日(日)の沖縄市成人式典における新成人抱負発表者・司会者を募集します。新たな門出を記念する成人式を、ぜひ一緒に盛り上げましょう。
対象／平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの方
締切／10月2日(金)午後5時
申込・問合せ／生涯学習課 内線(2742)

第26回 中部トリムマラソン大会 申込のお知らせ

大会期日／11月15日(日)
開催場所／沖縄県総合運動公園陸上競技場
申込期間／8月15日(土)～9月27日(日)
※完走者の中から各種目各1人(ファミリー親子の部は1ペア)に東京「デイズニールン」ドペア招待券を贈呈します。
※申込方法などの詳細は問合せいただくか、公式ブログをご確認ください。
公式ブログ:<http://chubutrim-ti-da.net/>
問合せ／中部トリムマラソン大会事務局
☎ 93215114

平成27年度 沖縄市営住宅入居募集

募集住宅	住宅名	間取り	住宅区分	募集部屋数
募集住宅	池原	3DK	一般	2部屋予定
		3DK	一般	3部屋予定
	登川	3LDK	多子世帯	1部屋予定
		3DK	一般	1部屋予定
	室川	2DK・2LDK	一般	2部屋予定
3DK		多子世帯	1部屋予定	

※タイプ、募集部屋数に若干の変更が発生する場合があります。

空室待ち募集	住宅名	間取り	住宅区分
空室待ち募集	登川	2LDK	車椅子仕様
	久保田	2LDK	車椅子仕様
	室川	1LDK	高齢者用(単身可能)
		2DK	高齢者用
		1DK	シルバーハウジング(単身可能)
		1LDK	シルバーハウジング
	安慶田	2DK	車椅子仕様(建替事業対象者を優先)

1. 入居募集期間及びしおりの配布期間 9月28日(月)～10月9日(金)
2. 配布場所 ・市営住宅課 住宅担当 ・本庁1階 総合案内

問合せ／沖縄市役所(6階) 市営住宅課 住宅担当
☎ 929-3117(直通) FAX:934-3854

お気楽元気教室 参加者募集

椅子に腰かけてできるストレッチや、マットの上で無理なく足腰の筋肉を鍛えるトレーニングを行います。

期間／[全10回]10月1日～12月3日 毎週木曜日 午後2時～4時
場所／沖縄市福祉文化プラザ
対象／市内在住の65歳以上で、介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方、かつ、医師より運動の制限を受けていない方
受講料／1回につき100円 ※非課税・生活保護を受けている方は無料
*送迎可能です。条件などはお問い合わせください。
定員／25人(申込多数の場合は抽選)
申込期間／9月1日(火)～18日(金)

申込・問合せ／高齢福祉課 地域包括支援センター 内線(3097)

子育てサポーター養成講習会

地域で子育てのお手伝いをしませんか。子育て家庭を支援するボランティア活動です。

受講資格 ①市内在住の方 ②全日程の受講が可能の方
③自宅や依頼者家で子どもの世話ができる方

期間／9月11日(金)～18日(金)[全6日間]
場所／沖縄市男女共同参画センター及びファミリーサポート・ジョブカフェ
受講料／2,000円(テキスト代)

*講座の時間や内容についてはお問い合わせください。

申込・問合せ／沖縄市ファミリーサポートセンター ☎ 921-1234

道路ボランティア募集

沖縄市では、道路の清掃や除草活動などに参加していただける市民の方や、企業団体を募集しています。道路の環境美化にお力をお貸しください。登録された団体へは、次の活動支援を行います。

○清掃用品(消耗品)や活動支援金の支給など

○作業中に生じたケガなどの治療費の支払い(市民総合保険より)

*5人以上で一団体とします。

申込・問合せ/道路課管理係
内線(2612)

親子料理教室

卵・牛乳・小麦を使用しないメニューの調理です。

講師/中山 要美氏

日時/9月26日(土)

午前10時~正午

場所/沖縄市福祉文化プラザ

対象/市内在住の6歳から小学6年生の子どもと保護者

定員/8組(申込多数の場合)

受講料/無料(エプロン・ずきん持参)

申込締切/9月17日(木)

午後3時

申込・問合せ/市民健康課

内線(2241・2242)

スポーツ教室のご案内

■大人のフットサル教室

基本的なドリブルやパスなどが楽しく身につきます。

日時/9月19日(土)・26日(土)

午前10時~11時30分

場所/コザ運動公園内多目的運動場

定員/20人(先着順)

■親子ハンドボール教室

子どもの「投げる」「取る」能力を高めます。

日時/10月3日(土)

午後3時~4時30分

場所/コザ運動公園 多目的運動場

定員/20組(先着順)

■エクササイズダンス教室(全3回)

脂肪燃焼に特化したダンスを行います。

日時/10月10日(土)・17日(土)・31日(土)

午前10時~11時30分

場所/沖縄市武道館剣道場

定員/20人(先着順)

【各教室共通】

講師/総合型スポーツクラブサンビスカス沖縄

対象/市内在住・在勤の一般成人

※親子ハンドボール教室の子どもは小学1年から6年生まで

受講料/100円(保険料)

*室内シューズをご持参ください。

平成27年度 沖縄市立中央公民館主催事業

◆ボイストレーニング初級講座(全7回)

講師/石川 真也氏(ボイストレーナー)
日時/10月6日(火)~11月24日(火)
毎週火曜日 午前10時~12時 ※11月3日を除く
受講料/無料 定員/20人
託児/無料・要予約(満6か月以上)

◆歩き方と健康講座(全2回)

講師/新垣 行康氏(健康管理士)
日時/10月8日(木)・15日(木) 午後7時~9時
受講料/無料 定員/40人

◆古民家探訪(バスツアー)

講師/長堂 昌太郎氏(古民家鑑定士)
日時/10月25日(日) 午前9時~午後4時
集合場所/沖縄市民会館駐車場
受講料/無料(保険・飲食代として1,500円徴収あり)
定員/20人

◆男のスキルアップ塾(体幹・メンタル)(全2回)

講師/伊東 大之氏(studio essence代表)
日時/10月7日(水)・21日(水) 午後7時~9時
受講料/無料 定員/30人※男性限定

◆BEGINNERS 釣り塾(全2回)

講師/山城 淳氏(海賊工房代表)
日時/[講話]10月11日(日) 午後1時~3時
[実践]10月18日(日) 午前7時30分~正午
受講料/無料(材料費・保険料として2,000円徴収あり)
定員/20人

◆ボールペン字講座(全3回)

講師/上地 燦舟氏(茅原書藝会あわせ習字教室)
日時/10月7日(水)・14日(水)・21日(水) 午後7時~9時
受講料/無料(教材費として300円徴収あり)
定員/20人(過去の同講座を受講していない方)
※手話通訳などのサポートが必要な方はご相談ください。

各講座共通 場所/沖縄市立中央公民館 研修室 ※釣り塾[実践]と古民家探訪を除く
対象/市内在住・在勤の一般成人 募集期間/9月9日(水)~30日(水) 申込方法/電話受付(先着順)

申込・問合せ/沖縄市立中央公民館 ☎939-0033 午前8時30分~午後5時(土日・祝日を除く)

東部海浜開発地域活性化推進事業

沖縄市東部海浜

大花火

9/27 2015 日 20:40頃

打ち揚げ場所 / 中城湾港 泡瀬地区埋立事業地 主催 / 沖縄市

沖縄市東部まつり

主催 / 沖縄市東部まつり実行委員会

9月26日(土) 27日(日)

県総合運動公園 多目的広場



打ち揚げ場所
中城湾港
泡瀬地区
埋立事業地



東部海浜開発事業とは

「スポーツ」「健康・医療」「交流」をメインとした開発を目指し、海に囲まれた緑豊かな環境の中で、スポーツや医療・保養などを通して市民や県民、観光客が交流・健康づくりを行える空間を創出します。それにより、新たな就業の場を作ります。

※大花火専用の駐車場はご用意しておりません。予めご了承下さい。
※花火は東部まつり会場よりご覧頂けます。
※荒天の際には、翌週に延期になることがあります(沖縄市HPにて告知)。

お問い合わせ：沖縄市 建設部 東部海浜開発局 計画調整課 TEL.098-929-4121